

岡山理科大学 出張教室アンケート質疑回答書

実施時期：平成29年5月22日／対象：岡山理科大学出張教室参加学生
作成：建築設備技術者協会 中国四国支部設備女子会

まず、設備系に進もうと考えたきっかけは何ですか？



設備業界は、これからの建物環境に絶対不可欠なものなので、やりたいと思いました。



建物があっても、空調や給排水、電気がないと、そこで生活はできません。そんな大切な仕事に携わりたいと思いました。それと女性が少ないからこそ活躍できる場があるのではないかと思います。



リニューアルの周期が建築の半分なので、仕事が無くなることはないなと思ってです。



電気科を卒業したので電気工事業界を選びました。



私は、本当に偶然です。学生時代の専門は設備ではありませんでしたが、社内で建築設備の部署が発足した際に、たまたまその部署に配属になりました。



私も偶然です。

仕事を楽しんでいる瞬間はどんな時ですか？



自分の意見が形になったときですね。あとは、教えてあげた相手から「分かった！ありがとう！」と感謝されたときです。



頑張って作成した提案書をお客さんに説明して、手ごたえがあったときです。



施主様に喜んで頂けたときです。



お客さんから感謝された時や、プロジェクトチームで設計打合せしているときなどです。



自分の設計したものが実際に形になっていくのを見るときです。



いつも楽しいと感じています！

上下関係は厳しいですか？



他業種が分からないので比較はできませんが、割と和やかだと思います。特に女性には優しく接してくれます。



厳しくはないと思いますが、礼節は大事です。



基本的なマナーは必要ですが、和やかな環境です。



やはり親しき仲にも礼儀ありです。先輩や上司が優しいからといって「なあなあ」になってはいけません。



上の方に対しても、自分の意見を伝えることができる雰囲気職場です。
ただ、組織(チーム)として全員で目標を目指すにあたり、自分の思いとは違っていても、上司の決定事項には従わなければならない場面もありますね。



仕事は、それなりに厳しいです。上司は早く一人前になってもらいたいからこそ、かわいいからこそ、厳しく指導します。



社内の上下より、お客様をいかに敬えるか、心地よくできるかというのもポイントかなと思います。

女性で良かったことはどんなことですか？



人数が少なく珍しいので、すぐに顔と名前を覚えてもらえることですね。

相手のふところに入りやすいところです。

がまん強いところですかね。

資格は取った方が良いですか？



もちろん！！取れるうちにとっておいた方が良いでしょう。

実務経験が必要な資格がほとんどですので、卒業後に働きながら勉強して取得します。

資格を取る＝勉強する事なので、取った方が良いでしょう。必須資格に関しては、所有していないと昇格できません。

この業界では、知識と経験が必要です。経験はある程度積んでいくしかないですが、知識は勉強しただけ自分のものになります。

法的に資格が無いと携われない仕事があります。また近年お客様から有資格者の配置を求められることも多いんですよ。自身の仕事の幅を広げるためにも取得をおすすめします。

どのような資格が役立ちますか？



業務に関連のある会社推奨資格から手をつけることをお勧めします。

一級建築士でしょうか。弊社には設備設計一級建築士や構造設計一級建築士もいます。各自の得意分野に合わせ、1級建築施工管理技士や建築設備士など幅広く取得されてますよ。

現場志望なら1級管工事施工管理技士は必須です。

建築士・施工管理技士・技術士などです。

一級建築士・建築設備士・設備設計一級建築士でしょうか。

建築士・技術士・建築設備士・施工管理技士・消防設備士などたくさんあります。知識は必ずどこかで役に立ちますよ。

休みはどれくらい取れますか？



有給休暇20日/年の完全取得を目指しています。

現場は波があって、落ち着いているときなら日曜日+土曜日隔週とれます。内勤は物件のスケジュールに左右されますが、割と週休2日取れます。

土日祝日休んでいます。

基本的には週2日休んでいます。

週に1~2日、取れなければその月に振り替え休を取ります。

週休2日の会社が殆どだと思いますが、弊社は会社カレンダーがありまして、土曜出勤日もあります。



各会社のHPをご参照ください。

「給与」はどれくらいですか？



入社後、どういう人が伸びていきますか？



人の話が聞ける素直な人、前向きに仕事に取り組む人です。



コミュニケーション能力に優れた人、元気で前向きな人です。



相手を問わず会話ができる人、自分の枠を決めずにチャレンジできる人です。



毎日なんとなく与えられたことをこなすだけでなく、自分の将来を思い描ける人、新しいことにチャレンジする人。



自分で考える人。疑問をぶつけてくる人は伸びると思います。



負けず嫌いな人、目標もきちんともっている人、5年後10年後の自分をイメージできている人です。

就活生、新卒社会人にありがちなミス(立ち回りや態度)はどんなことですか？



だまっていて、何を考えているかよく分からない態度をとること。



質問しないこと。上司に気軽に質問できるのは、若手のときだけだったと後で分かりますよ。



スマホばかり見ること。それよりも周囲の人と会話をしてほしいと思います。



言葉使いや、時間の守り方(遅刻・集合時間)、身だしなみですかね。



就活(面接)に関しては、ただどこかで覚えたような模範解答を暗記して答えること。社会人になってからは、分からないことを質問しないこと。

それを回避する方法は？



社内では知らない人にも元気に挨拶！分からないことがあれば遠慮なくどんどん質問してください。



一度自分で考えて分からなかったことを、絶対そのままにしないこと。誰かに聞いて理解することが大切だと思います。



外に出ること。



時間を無駄に使わないように、日ごろから、スケジュール管理するなど、心がけるといいと思います。



就活では、自分が何をしたいのか、なぜその会社に就職したいのかをしっかりと考えて自分なりの言葉で伝えましょう。
そして、新卒社会人は、分からないことだらけで当然です。どんどん質問してください。基本的な質問をしても恥ずかしくないのは本当に最初だけです。

入社後、自分の知識や技術が役に立つのでしょうか？



知識や技術はどこかで役に立ちますよ。



仕事をしていると、「あっ、勉強したやつだ！」と思うことは、結構あります。



資格試験の学科問題に必ず役に立ちます。

「学校の知識や技術」と「仕事の知識や技術」は必ずしも同じではありませんが、両方のバランスが大切です。学校でしっかり学んで、職場でしっかり学べば大丈夫です。



入社後すぐに即戦力になるという事は、会社は期待してないと思います。そのために研修もありますし。。。活かしていくかどうかはそのあとの事ではないでしょうか。



実際には、働き始めてからでないと、判断は難しいかもしれませんね。

学校で得た知識も就職して役に立ちますか？



就職してすぐでも専門用語が多少分かるので、建築を勉強していて良かったと思いました。図面もある程度読めます。



設備用語を覚えておくと、話が早いですね。



大学で勉強する建築用語など、役立ちます。議事録作成は、社会人になってすぐに経験するでしょうし、電話応対でも役に立つと思います。



資格を取得する上で役立つと思いますよ。



実際の業務では、勉強とは異なる部分もありますが、勿論役立つこともたくさんあります。



大学の講義と実務で必要な知識は、少しずれはありますが、全然役に立たないということはありません。しっかり勉強しましょう！

期待とのギャップによって仕事欲が低下することはありますか？



例えば設計がしたかったのに、営業に配属されて仕事欲が低下するのでしょうか。

建設業は設計・施工・営業・メーカー・研究開発・官庁など様々なジャンルの人が絡み合っています。

個人的には一分野に特化したプロにも憧れますが、いろいろ経験してきた人の深みにも魅力を感じます。広い経験を積むことで、他の人の立場を考えた動きができると思います。

『設計の分かる現場代理人』『営業の分かる設計』『研究開発から転職してメーカーへ』……どれも魅力的ですよ！

まだまだ20代。これからどんな仕事をするかは未知数です。若いうちに経験を積んで、広い世界を見ても意外と面白いかもしれません。

そんな中で私はやっぱりこれ！というものがあれば追いかけてみてください。



いつも、やりたい仕事・カッコいい仕事だけができるわけではありません。実際には、嫌な仕事・雑用も多いものです。

それでも誰かがやらないといけないのであれば、「私がやってやろうじゃん！」とその仕事の面白いところをみつけて前向きに取り組んでみるのができれば素敵ですね。



理想と現実のギャップは良くも悪くも感じると思います。私は、仕事欲が低下すると、人に会って客観的な意見を聞いて発散しています。



したい仕事もあれば、あまりしたくない仕事もあります。でも、自分なりの目標を持っていれば、続けていけると思います。



仕事欲の低下。。。波のように来ては去りが人によってサイクルは違えどあると思います。その時、「プライベートを充実させておくと割と楽に乗り越えられた」のは私の実感です。



先輩方に相談したり、同期どうしの励まし合いなど必要になると思います。日頃からコミュニケーションをとり、ワークライフバランスを上手にすることが大事です。

自分に向いているのか不安です。



それは誰にも分かりません。向いていなくてもやってみる、そして環境に合わせてみる中で、自分が苦しくないのであれば向いているということではないでしょうか。誰もが、やりたい仕事ばかりをやっているわけではなく、でも業務の中で小さな喜びを積み重ねてキャリアを積んでいると思います。



私も今でも不安です。だからこそ、企業のこと、自分のことをしっかり探って進む道を選択してください。



就活前に一度、自分は今までどんなことが好きだったか、得意だったのかを思い出してみましょう。



とりあえずこの業界に飛び込んでください。いよいよ「向いていない…」と思ったら、残念。シフトチェンジしましょう。



今は転職も比較的容易です。まずは実際に仕事をしてから考えても遅くないと思います。



やってみなきゃわかりません。



やってみないと、わからないことだらけです。とりあえず、やってみる。

私は、自分に才能を感じません。



自分で決め付けても仕方ないです。自分の意外な才能が開花することもあると思いますよ。



才能は、自分では計れません。評価は、第三者がしますので。大丈夫ですよ。



私も平凡な人間の一人で、普通の会社員です。才能豊かで活躍できる人はごくわずかかと思います。



才能があるかどうかより、「好きこそものの上手なれ」だと思います。



才能より努力の方が大切です。



才能＝美的センスという考えであれば安心して下さい。
仕事をする上では、図面を早く描ける、正確に描ける、プレゼンが上手い、コミュニケーション能力が高い等、色々な才能が必要です。その中で自分に合った才能を見つけて磨いていってください。



『才能』とは、相対評価でしかないと思います。あの人よりセンスがあるとか、社内で一番上手とか。。それって他人と比べなくちゃいけないで窮屈だし、そもそも一番になれる人は一握りですよ。それよりも『努力』をする方が有益です。自分との戦いであり絶対評価だから。ひとつずつ目標を立ててクリアしていけば、気付けば社内でもとんでもなく大きな存在になれているはずですよ。

ガラの悪い人が多くないか不安です。



設備会社は、まじめな人が多い印象です。職人は見た目怖い人はいますが、話すと大抵気のいいおじちゃんです。



昔ほどではないと思います。お行儀がよくないとやはり近隣住民からの目も厳しいご時世なので。



私は現場で、言葉遣いの荒い職人さんにお会いし、委縮してしまったことがあります。でも、みんながみんなというわけではないで、心配無用です。



職人さんに声をかけたいけれど、怖いな～、話しかけにくいな～と思ったこともありました。ある意味、命がけな作業もあるので、職人さんも危険なことがあれば荒い言葉になることもあります。でも、職人さんが建物を建てるために、誰よりも汗をかき真剣な姿を見て、私も自分の仕事をきちんとこなして、この人たちが気持ちよく作業できるようにしなきゃと強く思いました。例えば自分が、図面を間違えたり材料手配ミスをする、職人さんが困る現場が止まります。でもそんな失敗を汗をかいて黙々とカバーしてくれたこともあります。怖そうに見えても、家族LOVEな人が多くて、魅力的な人が多いです。孫トークや愛妻弁当など話のきっかけはたくさんありますよ。

何が不安なのかわからないほど不安です。



学生と社会人の環境は、がらっと変わってきますので、みなさん不安に思ってることだと思います。とにかく、環境に慣れることが大優先です。



案ずるより産むが易し！2～3年先輩のOBやOGIに会って話を聞いてみると少しは不安が解消されるかもしれません。



考えても分からないのなら、考えるだけ時間ももったいないと思います。後からでもある程度修正はききます。とりあえず、流れに身を任せてみてはどうでしょう。



まだ漠然としていて、不安な思いをされているのでしょうか。まずは何が不安なのか把握できるよう、動いてみましょう。流されるようにでも、一つずつ動いているうちに明確になっていくと思います。



とりあえず自分の興味のある分野を見つけて動いてみてください。辛いこともありますが、それ以上にやりがいや楽しさもあるはずですよ！



他の人の才能に圧倒されるし、向いているのかも分からないから不安を感じますよね。

不安に思うことを思いつくりノートに書き出して、自分で解決できないところは、先生や家族、友達に相談しましょう。1人で考えても不安はつのるばかりです。設備業界や仕事についての内容であれば、気軽に質問してくださいね！



初めての環境は不安ですよ。何をやるのか、ついていけるのか。もしかしたら大学入学した時と同じではありませんか。今はきっと大学になじんでいるはず。就職も同じことです。安心して飛び込んでください。先輩が支えます。

最後の質問です。私達は残り少ない学生の間は何をしておいたらいいですか？



比較的自由に時間が使えるうちに、趣味を見つけたり旅をしたり、色々な経験をして視野を広げてください。



内定をいただいてからは、自宅パソコンで卒業論文の執筆をしたりアルバイトをして過ごしていましたが、予定のない日も積極的に研究室に顔を出して先生や先輩・同級生と話をする時間をもっとも良かったなと思います。あとは、時間のあるうちにぜひ海外旅行に。そして英会話の勉強も！



ニュースやスポーツなど、自分の両親世代の話題についていけるようにしておくといいですね。



自分の失敗を思い返すと…『自分の記憶や常識が正しいか再確認する事』ですね。

テーブルマナー・ことわざ・慣用語・四字熟語・小説の作者あらすじ等々…当たり前かもしれませんが、大切だったと気づきました。



ぜひ親の新入社員時代の話を聞いてみてください！時代は違うけど、勉強にもなるし緊張も少しほぐれますよ☆

それと、興味があることは人に流されずやってみることかな～。友達がしないからしないのは勿体ない！

「やっときゃ良かったー(;>_<)」って後悔するくらいなら自分一人でもやってみるべし！



社会人になっても頼れる人間関係を構築してください！